

令和7年度

看護学部看護学科
入学者選抜実施要項

令和6年6月

公立大学法人



沖縄県立看護大学

沖縄県立看護大学の概要

- 1 名 称： 公立大学法人 沖縄県立看護大学
- 2 所 在 地： 那覇市与儀1丁目24番1号
- 3 教 育 理 念： 本学の教育理念は、生命の尊厳を重視し豊かな人間性を養い、変化の進む社会において、幅広い視野を持ち、看護を科学的に実践できる看護職者を育成し、それにより人々の健康と福祉に貢献することです。
- 4 概 要： 沖縄県内唯一の看護大学として、平成11年4月に開学した。
看護学部・看護学科の単科大学で入学定員は80人である。
- 5 学部及び学科： 看護学部看護学科
- 6 総 定 員： 320人（入学定員80人）
- 7 学 位： 卒業生には、学士（看護学）の学位が授与される。
- 8 卒業後の資格： （1）看護師及び保健師の国家試験受験資格が得られる。
（2）養護教諭2種免許は、必要な科目を履修し、保健師免許取得後、申請により取得できる。
- 9 開 学： 平成11年4月
- 10 校 地 面 積： 20,268㎡
- 11 建物延床面積： 15,888㎡
教育管理棟、研究棟、図書館、体育館

令和7年度沖縄県立看護大学入学者選抜実施要項

I 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本学看護学部では、本学の教育理念と目標の実現に向けて、本学のアドミッションポリシーに適合し、学力の3要素を備えた人材を学生として求めています。
沖縄県立看護大学看護学部で令和7年度に入学する方の選抜試験については下記のように実施いたします。

○本学のアドミッションポリシー

1. 生命を大切にする倫理観を備えている。
2. 人々の健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという思いを持っている。
3. 大学での学修を継続できる基礎的学力を有し、論理的に考えることができる。
4. 自律的な行動と主体的な学びを重視して、自己研鑽に努める習慣がある。
5. 人間の多様な在り方を尊重でき、沖縄やその他の地域の地理的文化的特性とこれらの地域での活動に関心を持っている。
6. 他者への関心と理解する姿勢を持っている。
7. 目的に向かって自身の役割を主体的に果たせ、他者と共同して活動できる。

○学力の3要素

本文書中の学力の3要素とは、中央教育審議会による「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について（答申）」（高大接続改革答申）での学力の3要素を指します。

1. 基礎的な知識・技能
2. 知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力（思考力・判断力・表現力）
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）

II 募集人数

学 部 学 科	入学定員	内 訳			
		一 般 選 抜	特 別 選 抜		
		前期日程	離島・過疎地域 推薦選抜	高校推薦選抜	学士選抜
看護学部 看護学科	80名	55名	8名	15名	2名

※後期日程での選抜試験はありません。

※離島・過疎地域推薦選抜又は学士選抜で合格者人数が募集人数を満たさなかった場合は、不足人数を高校推薦選抜の選抜人数に加え、特別選抜全体の合格者人数を25人とします。

Ⅲ 一般選抜（前期日程）

1 出願資格

次のア及びイを満たす者とします。

ア 次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び受験する年度の3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び受験する年度の3月31日までに修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び受験する年度の3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び受験する年度の3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（従前の大学入学資格検定を含む）に合格した者及び受験する年度の3月31日までに合格見込みの者

イ 受験年度に実施される「大学入学共通テスト」において、本学が選抜に利用する教科・科目を受験した者

2 選抜の基準

本学のアドミッションポリシーに適合し、本学で看護学を学んでいく上での適性を備え、卒業後に看護職者としての活躍が期待できる資質を持つ者を選抜します。

3 選抜方法

「大学入学共通テスト」及び本学が実施する試験の結果に基づいて選抜を行います。

選抜試験の内容と配点は以下のとおりです。

評価方法	配点	総合点	評価内容
(1) 「大学入学共通テスト」の成績に基づく基礎的学力の評価	700点	1000点	学力の3要素の中の基礎的知識の修得状況について評価する。
(2) 筆記試験	150点		学力の3要素の中の主に思考力、判断力、表現力について評価する。
(3) 実績評価 (実績報告書・学校調査書)	100点		学力の3要素の中の主に主体性、協働性について評価する。
(4) 個別面接	50点		本学学生としての適性について、上記の学力試験では測れない要素を評価する。

4 各評価方法の概要

(1) 「大学入学共通テスト」の成績に基づく基礎的学力の評価（700点）
「大学入学共通テスト」の利用教科・科目・配点は以下のとおりです。

教科	科目	配点	備考
国語	『国語』	200点	
外国語	『英語』（リーディング及びリスニング）	200点	
地理歴史 ・ 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目を選択解答 ※『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合、2つの出題範囲を選択解答すること。出題範囲の指定はない。	50点	第1解答科目の得点を利用する。 100点満点を50点満点に換算する。
数学	『数学I』、『数学I、数学A』から1科目を選択解答	100点	
情報	『情報I』	50点	100点満点を50点満点に換算する。
理科	『生物』、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から1科目を選択解答。 ※『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合、2つの出題範囲を選択解答すること。ただし、『生物基礎』の解答は必須とする。	100点	『生物』及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の両方を解答した場合、得点の高い方を利用する。
合計		700点	

※本学が利用する教科・科目や利用方法については、全国の実施状況を参考に、令和8年度以降の入学試験から変更する場合があります。

○旧教育課程履修者等に対する大学入学共通テストにおける経過措置

旧教育課程履修者(注)に不利にならないよう、下表のとおり共通テストの「地理歴史」、「公民」、「数学」、「情報」における経過措置科目も一般選抜入試に係る大学入学共通テストの選択科目として選択可能とします。ただし、2025(令和7)年度入学者選抜のみの措置とします。

〈一般選抜入試〉

試験教科	令和7年度経過措置科目の対応	
	新学習指導要領科目 (本学指定科目)	経過措置科目
地理歴史	『地理総合、世界史探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、地理探究』 『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』	→ 『旧世界史A』 『旧世界史B』 『旧日本史A』 『旧日本史B』 『旧地理A』 『旧地理B』 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』
公民		
数学	『数学I』 『数学I、数学A』	→ 『旧数学I』 『旧数学I・旧数学A』
情報	『情報I』	→ 『旧情報』

注) 「旧教育課程履修者等」とは、大学入試センターにより“下記以外の者”と定義されています。

- ①高等学校(特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)に令和4年4月に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者
- ②中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者

(2) 筆記試験(150点)

提示する課題について記述する試験を行います。学力の3要素の中の主に論理的思考力や判断力、日本語での表現力を評価します。

(3) 実績評価(100点)

学校調査書では高校3年間の学業成績について評価します。実績報告書では学業以外の活動実績について評価します。なお、社会人経験者や高校を卒業してから長期間経過している受験者に対しては、高校を卒業してからの活動について、実績報告書の中で記載していただきます。

(4) 個別面接(50点)

コミュニケーション能力や学ぶ意欲など、看護職者になるために本学の学生として勉学を行っていく上での適性について評価します。

※個別面接において適性が低いと評価された場合は、大学入学共通テストや筆記試験、実績評価の成績に関わらず不合格となる場合があります。

5 主な出願書類

- ・学校調査書：学校が作成したもの。
- ・実績報告書：課外活動などの実績について本人が作成したもの(高校卒業予定者については本人が作成し学校が確認したもの)。本学で書式を指定します。実績を証明する資料の提出を求める場合があります。
- ・自己推薦書：本学へ入学を希望する理由や看護職を志す理由、社会貢献についての将来展望などを説明したもの。面接評価の資料とします。

6 試験日程等（一般選抜）

- (1) 出願期間
令和7年1月27日（月）から令和7年2月5日（水）まで
- (2) 試験期日
令和7年2月25日（火）
- (3) 合格発表日
令和7年3月6日（木）

※新型コロナウイルス感染症等の罹患により上記試験を受験できなかった方などを対象にした追試験等の実施については、「一般選抜学生募集要項」やホームページ上にてお知らせします。

IV 特別選抜（離島・過疎地域推薦選抜、高校推薦選抜、学士選抜）

特別選抜は、「離島・過疎地域推薦選抜」、「高校推薦選抜」、「学士選抜」の3つの枠を設けて行います。なお、3つの枠の間で併願はできません。

1 離島・過疎地域推薦選抜

●設置の理由

本学のアドミッションポリシーの選抜基準の中の「5. 沖縄やその他の地域の地理的文化的特性とこれらの地域での活動に関心を持っている。」を特に念頭におき、離島・過疎地での生活経験を有し看護職を目指す学生を求めます。

(1) 出願資格

次のア～エをすべて満たす者としてします。

ア 県内の離島にある中学校（#1）あるいは過疎地域の中学校（#2）を卒業した者（該当する中学校の一覧はP.11参照）

#1 出願者の中学校在学中にへき地教育振興法によりへき地学校の級別である1級～5級が付されていた中学校。

#2 出願者の中学校在学中に過疎地域自立促進特別措置法により過疎地域に指定されていた町村（国頭村、大宜味村、東村、本部町）の中学校。

イ 令和6年度に沖縄県内の高等学校を卒業見込みの者で、在学する学校長の推薦を受けた者（1高等学校あたり2人まで推薦可）

ウ 卒業した中学校を設置している市町村の長の推薦を受けた者（1市町村あたりの推薦人数の制限なし）

エ 合格した際は入学することを確約でき、本学が実施する入学前プログラムを受講することを承諾できる者

(2) 選抜の基準

- ・本学のアドミッションポリシーに適合し、特に、離島・過疎地域で暮らす人々、その生活や医療に関心を持つことを重視します。
- ・高等学校の成績が優秀であること

(3) 選抜方法

選抜基準を満たす者という観点から下記に基づく選抜を行います。

- ・学校調査書及び実績報告書の評価（30点）：学業成績と課外活動について評価します。
- ・面接評価（70点）：アドミッションポリシーへの適合性のほか、基本的なコミュニケーション能力、学習意欲や看護職についての職業観などを評価します。

(4) 主な出願書類

- ・学校調査書：学校（高等学校）が作成したもの。
- ・実績報告書：課外活動などの実績について本人が作成し学校が確認したもの。
本学で書式を指定します。
- ・自己推薦書：本学へ入学を希望する理由や看護職を志す理由、将来展望などについて、離島・過疎地域での生活経験に関連づけて説明したもの。面接評価の資料とします。
- ・卒業見込みの学校の校長からの推薦書：
受験者の学力の3要素に関する能力について記載したもの。
- ・卒業した中学校を設置している市町村長からの推薦書：
面談に基づいた所感及び当該市町村と被推薦者の現在のつながりについて記載されていることが望まれます。
- ・卒業した中学校の卒業証書の写し

2 高校推薦選抜

●設置の理由

本学のアドミッションポリシーの中の「2. 人々の健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという思いを持っている。」と「4. 自律的な行動と主体的な学びを重視して、自己研鑽に努める習慣がある。」、「7. 目的に向かって自身の役割を主体的に果たせ、他者と共同して活動できる。」を特に念頭におき、高等学校在学中の学業成績などが優秀で、高等学校からの推薦を受けられる学生を求めます。

(1) 出願資格

次のア、イをすべて満たす者とします。

- ア 令和6年度に沖縄県内の高等学校を卒業見込みの者、または沖縄県内の中学校を卒業し、令和6年度に沖縄県外の高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者で、在学する学校長の推薦を受けた者。（1学校あたり2人まで推薦可）
- イ 合格した際は入学することを確約でき、本学が実施する入学前プログラムを受講することを承諾できる者

(2) 選抜の基準

- ・本学のアドミッションポリシーに適合し、高等学校の成績が優秀であること
- ・社会貢献への意欲と強いリーダーシップ、学びの主体性を持つことを重視します。

(3) 選抜方法

選抜基準を満たす者という観点から下記に基づく選抜を行います。

- ・学校調査書及び実績報告書の評価（70点）：学業成績と課外活動について評価します。
- ・面接評価（30点）：アドミッションポリシーへの適合性のほか、基本的なコミュニケーション能力、社会貢献に対する展望、協同性、リーダーシップなどを評価します。

(4) 主な出願書類

- ・学校調査書：学校が作成したもの。
- ・実績報告書：課外活動などの実績について本人が作成し学校が確認したもの。
本学で書式を指定します。
- ・自己推薦書：本学へ入学を希望する理由や看護職を志す理由、社会貢献についての将来展望などを説明したもの。面接評価の資料とします。
- ・卒業見込みの学校長からの推薦書：受験者の学力の3要素に関する能力について記載したもの。
- ・卒業した沖縄県内の中学校の卒業証書の写し（県外の高等学校を卒業予定の方のみ）

3 学士選抜

●設置の理由

本学のアドミッションポリシーの選抜基準「2. 人々の健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという思いを持っている。」を特に念頭におき、他分野にて大学教育を受けかつ何らかの顕著な実績を持つ者の中から、看護職として社会に貢献したいという意欲を持つ学生を求めます。また、将来的に保健看護の領域に新たな価値観を導入あるいは創造する可能性のある学生を求めます。

(1) 出願資格

次のアからウをすべて満たす者とします。

ア 次のいずれかに該当する者

- ・大学（短期大学を除く）を卒業した者、または令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- ・大学院を修了し学位を取得した者、または令和7年3月31日までに取得見込みの者
- ・学位授与機構により学位を取得した者

- ・外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または令和7年3月31日までに修了見込みの者
 - ・専修学校の4年の専門課程を修了して高度専門士の称号を取得した者、または令和7年3月31日までに取得見込みの者
- イ 学術、文化・芸術、スポーツ、社会貢献活動のいずれかにおいて何らかの実績を有する者
ウ 合格した際は入学することを確約できる者

(2) 選抜の基準

- ・本学のアドミッションポリシーに適合し、将来的に保健看護の領域に新たな価値観を導入あるいは創造する可能性を持つ人材であることを求めます。したがって、創造性、リーダーシップ、国際性、社会貢献に対する意欲などを重視します。

(3) 選抜方法

選抜基準を満たす者という観点から下記に基づく選抜を行います。

- ・書類による実績評価（70点）
 - 実績についての報告書
 - 保健看護分野・社会への貢献についての展望を記載した自己推薦書
 - 学士などを授与された大学などの成績証明書
- ・面接評価（30点）
 - 実績や看護職観、将来展望などについてプレゼンテーションおよび質疑応答を行い、説明能力やコミュニケーション能力、保健看護分野への貢献が期待できる資質などを評価します。

(4) 主な出願書類

- ・実績報告書：実績について説明し、これが確認できる公的な文書あるいはそれに準ずる文書を付したものの。
- ・自己推薦書：自身の長所や看護分野での有用性、卒業後の計画など、看護分野への貢献について記載したもの。
- ・学位及び大学などでの成績を証明する文書
- ・人物について照会可能な方2人の連絡先と受験者との関係

4 試験日程等（離島・過疎地域選抜、高校推薦選抜、学士選抜）

- (1) 出願期間
令和6年11月1日（金）から令和6年11月6日（水）まで
- (2) 試験期日
令和6年11月16日（土）
- (3) 合格発表日
令和6年12月2日（月）

V 障害を有する等、受験上特別な措置を必要とする入学志願者との事前協議

本学に入学を志願する者で、障害を有する等、受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者は、出願の前にあらかじめ本学学務課に連絡し、相談してください。

VI 学生募集要項について

1 学生募集要項の公表予定時期について

(試験場、出願方法、出願手続、入学考査料その他入学者選抜に関する実施細目)

- (1) 「特別選抜学生募集要項」 令和6年8月初旬
- (2) 「一般選抜学生募集要項」 令和6年9月下旬

※本学のホームページへ掲載します。冊子の配布はありません。

<問い合わせ先>

公立大学法人沖縄県立看護大学 学務課

〒902-8513 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号

TEL 098-833-8800 (8:30~17:15)

FAX 098-833-5133

(別紙)

離島・過疎地域推薦選抜の出願資格に該当する離島・過疎地域の公立中学校一覧

(P7. 1(1)ア)

市町村	中学校	住所
国頭村	国頭	国頭村字辺土名1463
大宜味村	大宜味	大宜味村字塩屋1306-6
東村	(併)東	東村字川田837
本部町	(併)上本部学園	本部町字北里1317
	本部	本部町字渡久地231-1
	(併)伊豆味	本部町字伊豆味13
伊江村	伊江	伊江村字西江前1
伊平屋村	伊平屋	伊平屋村字我喜屋241
	(併)野甫	伊平屋村字野甫401
伊是名村	伊是名	伊是名村字仲田1344
うるま市	(併)津堅	うるま市勝連津堅1327-2
久米島町	久米島西	久米島町字西銘1324
	球美	久米島町字比嘉2856
南大東村	(併)南大東	南大東村字池之沢317
北大東村	(併)北大東	北大東村字中野181
南城市	(併)久高	南城市知念字久高46
渡嘉敷村	(併)渡嘉敷	渡嘉敷村字渡嘉敷355
座間味村	(併)座間味	座間味村字座間味943
	(併)阿嘉	座間味村字阿嘉316
	(併)慶留間	座間味村字慶留間82
粟国村	(併)粟国	粟国村字東447
渡名喜村	(併)渡名喜	渡名喜村639
宮古島市	平良	宮古島市平良字西里724
	北	宮古島市平良字西仲宗根500
	久松	宮古島市平良字久貝932
	鏡原	宮古島市平良字下里3107-3
	西辺	宮古島市平良字西原1138
	狩俣	宮古島市平良字狩俣4337
	(併)池間	宮古島市平良字池間903
	城東	宮古島市城辺字西里添1080
	下地	宮古島市下地字洲鎌250
	上野	宮古島市上野字新里356-1
伊良部島	宮古島市伊良部字池間添1720	
多良間村	多良間	多良間村字塩川576
石垣市	(併)富野	石垣市字桴海299-45
	(併)川平	石垣市字川平969
	(併)崎枝	石垣市字崎枝530-18
	(併)名蔵	石垣市字名蔵243
	石垣	石垣市字新川307
	石垣第二	石垣市字登野城1078
	大浜	石垣市字大浜103
	白保	石垣市字白保268-35
	伊原間	石垣市字伊原間28
竹富町	(併)竹富	竹富町字竹富545
	(併)黒島	竹富町字黒島1140
	(併)小浜	竹富町字小浜2575
	(併)波照間	竹富町字波照間54
	大原	竹富町字南風見仲29-2
	船浦	竹富町字上原870
	(併)西表	竹富町字西表869
	(併)船浮	竹富町字西表2435
	(併)鳩間	竹富町字鳩間588
与那国町	与那国	与那国町字与那国1049
	久部良	与那国町字与那国4022

(併) …小中併設校